

令和4年度
決算認定

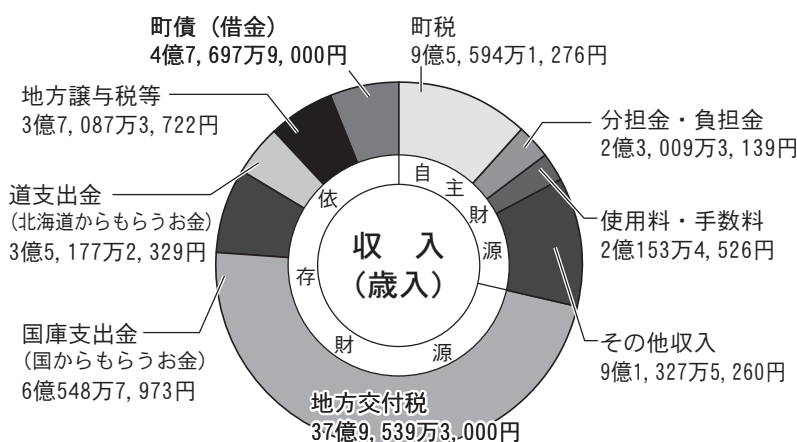
一般会計
支出総額

77億740万円

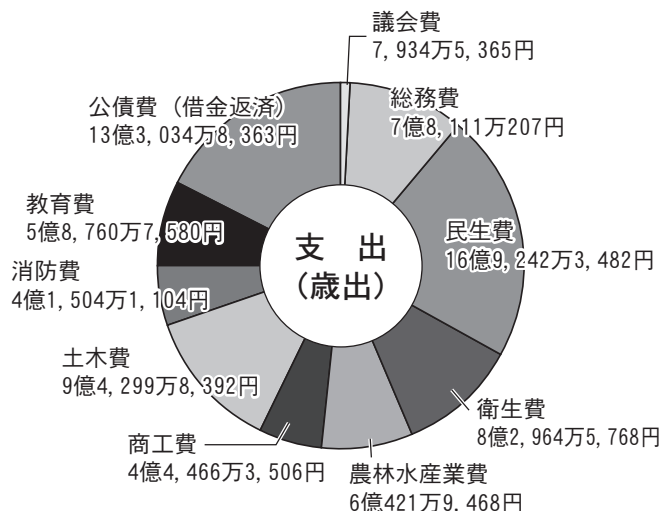
第3回 町議会定例会

令和5年第3回定例会が、9月6日から14日まで9日間の会期で開かれました。
令和4年度決算の認定、条例の一部改正や補正予算などを審議し、いずれも原案どおり
認定、可決し、閉会しました。

☆令和4年度一般会計決算



収入 (歳入) 合計 79億135万225円



支出 (歳出) 合計 77億740万3,235円

☆行政報告

【町 長】 3件 (※以下主なものを掲載しています。)

◇令和5年度普通交付税の決定 = 決定額：34億7,088万1,000円 前年度比1.7%増。

◇広尾高等学校の募集学級の減について = 9月5日に北海道教育委員会が公表した公立学校配置計画において、広尾高等学校の募集学級数が令和6年度に1学級削減され1学年1学級となった。翌年度の卒業見込み者数は53名となっており、生徒の進路選択に影響が出ないよう次年度に向け北海道教育委員会へ2問口確保の要請を今年中に行う予定。

☆主な審議事項と結果

件 名 (一部省略しています)	審議結果
教育委員の任命 = 新菊地亜希さん (字野塚11線) 任期：令和5年10月1日から4年間	同意
広尾町海洋博物館の設置及び管理に関する条例の一部改正 = 博物館の設置主体を地方公共団体や一般社団法人等に限定する「登録制度等」が見直され、同法の「公立博物館」の規定から「設置」に関する条項が削除された。これに伴い海洋博物館の設置根拠を「博物館法」から公の施設の設置等を規定する「地方自治法」に改正するもの。	原案可決

※裏面へ続きます

件 名 (一部省略しています)	審議結果
北海道市町村職員退職手当組合理約の変更について = 北海道市町村職員退職手当組合に「後志広域連合」が加入することに伴い、規約の変更が必要となったもの。	原案可決
令和5年度一般会計ほか7会計予算の補正 8会計の補正予算は、7日の本会議で審議した結果、原案のとおり可決した。	原案可決
令和4年度一般会計ほか9会計の決算認定 一般会計、8特別会計、1企業会計の計10会計の決算認定は、決算審査特別委員会で審査した結果、全会計を認定すべきと決定。14日の本会議で全会計の決算を認定した。	認 定

一 般 質 問

9月8日(金)

☆松田健司、旗手恵子、前崎 茂、小田雅二の4議員が行いました。

【松田議員】 ①町内公共施設の暑さ対策について

②情報通信技術（I C T）への取組について

【旗手議員】 ①子育て支援として学校給食費の無償化を

【前崎議員】 ①マイナンバーカードの健康保険証一体化の延期、中止について

【小田議員】 ①物価高騰対策について

②交通安全対策について

意見書の審議

9月14日(木)

※可決された意見書は、国及び関係機関に提出しました。

件 名	審議結果
肥料、燃油などの生産資材等高騰対策の強化を求める意見書	原案可決
ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書	原案可決
国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書	原案可決

「議員定数等に関する調査特別委員会」調査報告

第3回定例会初日（9月6日）、議長を除く全議員で構成する上記委員会の調査報告がなされました。

住民からは定数について、人口減に合わせ減らすべき、定数減は意見が偏るのではないかなど現状維持・定数減両方の意見がありました。議員からは、委員会機能に支障をきたす可能性があること、活発な議論には現状が妥当とする意見があり、採決を行い、現行の13名とすることに決定しました。

また報酬について住民からは、報酬増により議会の活発化を期待する意見や定数の減分を報酬増の原資にする等の意見が出されました。議員からは、若者が立候補するには生活を保障できる報酬が必要、活動に見合った報酬のため現状が妥当等両方の意見がありましたが、採決の結果現状維持とすることに決定しました。

☆一般質問や質疑、議案の賛否状況等の詳細については、12月発行予定の議会だよりに掲載します。

また、広尾町のホームページにも掲載していますので、ご覧ください。

検索



◎発行・編集／広尾町議会・議会広報特別委員会

E-mail g-gikai@town.hiroo.lg.jp

〒089-2692 広尾郡広尾町西4条7丁目 TEL 01558-2-0180 FAX 01558-2-2114